

2025年の千葉市

皆さんにとって、2025年はどのような年だったでしょうか。

千葉市でもさまざまな出来事がありました。そこで、昨年1年間の市政にまつわる主な出来事を振り返ります。

3月 動物科学館をリニューアルオープン

千葉市動物公園の動物科学館は、3月に熱帯雨林を学ぶ学習展示施設「生命の森 熱帯雨林」としてリニューアルオープンしました。熱帯雨林の過去や現状を学ぶだけでなく、土壌生物の視点や動物を誘う熱帯植物の香りなども体験することができるようになりました。



3月 花の美術館をリニューアルオープン



花の美術館は「BOTANICA MUSEUM」として、見るだけでなく、香りや音、そして実際に触れるなど、五感全てで自然の魅力を感じることができる施設に生まれ変わりました。

5月 アルティエリ千葉 B2優勝 B1昇格決定

プロバスケットボールクラブのアルティエリ千葉は、Bリーグ2024-2025シーズンのB2で優勝し、B1に昇格しました。

現在開催中の2025-2026シーズンも応援に行きましょう！



7月 「バレーボールネーションズリーグ 2025千葉大会」が開催

オリンピック、世界選手権に次ぐ主要国際大会の一つ、バレーボールネーションズリーグ（VNL）の予選ラウンドが千葉ポートアリーナで開催されました。千葉市ゆかりの佐藤淑乃選手も攻守で大活躍でした。

会場のファンゾーンでの選手との交流や市役所でのパブリックビューイングも盛り上がりました。



9月 「千葉国際芸術祭2025」集中展示・発表期間を開催



千葉国際芸術祭 2025
Chiba City Arts Triennale 2025
ちから、ひらく。

市民参加型の芸術祭「千葉国際芸術祭2025」が9月19日に集中展示・発表期間を迎えました。この芸術祭の特徴は「鑑賞」だけでなく「参加」して楽しめるアートプロジェクトがたくさんあるところ。美術館やギャラリーの中ではなく、市内各所で開催されました。

11月 郷土博物館をリニューアルオープン

陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」を展示テーマに、千葉氏をはじめとする郷土の歴史を楽しみながら学べる博物館に生まれ変わりました。

原始・古代、中世、近世そして近現代のフロアがあり、郷土の歴史を通史でたどることができます。



主な出来事

1月	科学館のプラネタリウムがリニューアルオープン	7月	バレーボールチーム「千葉ドット」が新体制でV.LEAGUE参戦
2月	千葉市食のブランド「千」の取り組みがサステナアワード2024「消費者庁長官賞」を受賞		千葉開府900年記念「2025年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を千葉公園「芝庭」で開催
	千葉市こども・若者基本条例の制定		千葉市こどもの権利救済相談室（ちばふらっと）を開設
3月	神谷市政2期目がスタート	8月	稲毛海浜公園プールが来場者数累計1,000万人を達成
	海浜幕張駅の公園改札が使用開始 商業新エリアも開業	9月	「千葉マリンスタージアム再整備基本構想」を公表
4月	少年自然の家が開設20周年	10月	2026年の千葉開府900年を記念して、千葉の親子三代夏祭りで使用する浴衣の新デザインが決定
	動物公園が開園40周年	11月	市美術館が開館30周年
5月	想定最大規模の高潮における避難の方針を決定	12月	車いすラグビー日本選手権大会が開催
6月	第1回こども・若者会議を開催		
	千葉空襲・戦後80年「デジタル平和資料館」をWEB上に開設		